



府中国際交流サロン
FUCHU INTERNATIONAL SALON

くろする〜ど

2025/7・8月合併号 第305号

かいほうし
会報誌



〜サロン月間カレンダー7・8月〜

「日本語学習発表会開催のお知らせ」

■日本語学習会

日時：7月2日(水)～7月19日(土)
月(午前・午後)水(午後)金(午後・夜)
土(午後) ※5日(土)は休み
場所：会議室・学習室ほか

昨年につき、第13回日本語学習発表会を開催します。昨年は13名の学習者が参加して、それぞれのテーマで素晴らしいスピーチをしてくださいました。今年、7月7日(月)から参加者募集を始めます。学習者のみなさんの応募をお待ちしています。

■実行委員会

日時：7月9日(水)午前10時～昼12時
場所：第1会議室

- 日時：12月6日(土) 午後1時半～4時
- 場所：フチュール第1・2会議室
- 募集人数：12名程度
- 発表テーマ：日頃、感じていること、例えば「日本の面白いところ、不思議なところ」、あるいは「身近なできごと」、「自分の国の紹介」等々、スピーチのテーマは自由です。
- 発表時間：4分以内(パワーポイントは使えません)
- 応募方法：募集要項にある応募用紙に必要なことを記入して、事務局に提出してください。
- 応募締切り：10月31日(金)

■日本語教授法研修会 I

日時：7月3・10・17日(毎週木曜日)
午後2時～4時
場所：学習室

■文化交流部会

6月号でお知らせした「紫陽花を愛でる会」は7月5日(土)に郷土の森公園で実施しました。

■フチュール休館日

7月5日(土)、8月11日(月・祝)～14(木)は、フチュール全体がお休みです。

*詳しいことは、事務局で聞いてください。
(サロン実行委員会)

*詳しいことは、事務局で聞いてください。



世界の文化

「外国人のための銭湯入門ツアー」

去る4月19日(土)、金曜午後のボランティア桃井和彦さんの案内により、異文化体験で学習者のための銭湯入門ツアーが実施されました。参加された学習者から体験報告が寄せられました。

「初めての銭湯」

バーグ・ルドヴィク (フランス)

4月19日初めて銭湯に行きました。イベントは11時半に始まったのですが、午後と思って11時半に家を出発しました。

その結果、私は1時間遅れて到着しました。

12時半頃に到着したので銭湯ツアーに参加できず、説明も受けられなかった。

到着したとき、すぐに石鹸とバスタオルを無料で受け取りました。

その銭湯には5種類の浴槽があります。3つは黒湯、1つは白湯、最後の1つはバブルマッサージが利用可能でした。

私の記憶が正しければ、それぞれ水温も異なります(18°、35°、42°)。

体を洗った後、35度のお風呂に入りました。朝の忙しさとストレスの後、水に入るのはホッとした。

30分ほど違う水を試した後、出る時間になったので、冷水シャワーを浴びて、ロビーに戻ってコーヒーマルックを飲んで家に帰りました。



改正湯のシルク湯・白湯・黒湯(左から)

「日本語学習発表会の原稿を紹介」

2024年12月14日(土)に、日本語学習発表会がありました。そこで発表された内容を随時、紹介します。

「なぜ留学を選んだのか」

コン・ハ・ミー (ベトナム)



皆さん、こんにちは。ベトナムから来たハミです。日本にきて2年半ぐらいになります。現在、私は農工大学大学院の3年生です。私の専攻は獣医学です。今はほとんどの時間

を実験室で過ごしています。将来は研究者になりたいと思っています。また、私は、色々な文化について学ぶことが好きなので、ここに来られてとても嬉しく、感謝しています。

皆さん、ベトナムへ行ったことがありますか。私が初めて日本に来たとき、“ベトナムではまだ戦争が続いているのか？”と聞かれてびっくりしました。

ベトナム戦争は1975年、約50年前に終わったのですが、今でもベトナムが戦争の影響を受けていると思われることがあるようです。しかし、現在、ベトナムは一党制の国として政治的に非常に安定しています。ベトナムは戦争が終わった後、急速に発展しました。多くの若者が一生懸命勉強し、働いて社会を前進させています。留学のチャンスを探している人も増えていると思います。

「なぜ留学を選んだのか？」とよく聞かれますが、ベトナムは発展途上国で、環境汚染や交通渋滞、貧困など多くの課題がまだあります。だから、世界を見て学ぶ良い機会だと思いました。特に、日本には学ぶべきことがたくさんあり、ここに来られたことは本当に幸せです。素晴らしい人たちにも出会い、充実した時間を過ごしています。

ベトナムでは、家族をととても大切にするので、親や祖父母が近くに住む人が多いです。私の両親も隣

に祖父母の家があり、家族との時間を大切にしています。若いうちは色々なことを学びたいので、海外の色々なところを見たいですが、最終的には家族と一緒に過ごすことが一番大切だと思っています。

私のスピーチは以上です。ありがとうございました。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

「趣味と日本語」

蘇 漢宇 (中国)



皆さん こんにちは。蘇漢宇と申します。中国から来ました。今新宿にある日本語学校で勉強しています。私の目標は日本でIT関連の会社に就職したいと思っています。今日私のテーマは

“趣味と日本語”です。

皆さん、中華まんを食べたことがありますか、作ったことがありますか。私は日本に来る前は、中華まんを作ったことはなく、ただ作り方のビデオを見たことがあるだけでした。日本に来てからは、すぐに日本の食事に慣れることができず、基本的に自分でご飯を作っていました。

もともと料理をすることに対して、嫌いでもなければ特別好きでもありませんでした。しかし、日本でご飯を作る回数が増えるにつれて、料理を作ることがだんだん好きになってきました、そして中華まんや小籠包などを作ることができました。

また、いつも家族や友達から料理の味について意見をもらい、それに応じて作り方を調整し、料理の腕が少しずつ上達していきました。その過程で、達成感も味わうようになり、料理を作ることが新しい趣味になったのです。

日本に来る前は、中国で8年間、プログラミングの仕事に従事していました。プログラミングは、あ

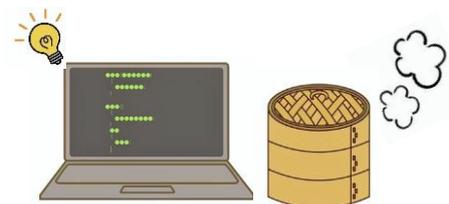
る意味で料理と似ていると思います。

プログラミングをしていると、バグが出るのはよくあることです。そのときは問題点を見つけ、解決し、最後に達成感を得ることができます。料理でも、最初は失敗や味が悪いことがありますが、原因を調べて、調味料や分量を調整し、何度も試すことで、最終的には美味しくなります。

日本語の勉強も同じだと思います。ひらがなから始まり、文法、リスニング、会話、漢字などを一つずつ学んで、ある日挨拶ができるようになったとき、自信ができました、その上、さまざまな文法を使って自分の気持ちを表現できるようになると、日本語に対する興味が増えます、さらに勉強を続けたいという意欲が湧いてきました。

今はまだ日本語が上手ではありませんが、努力を続ければ、必ず良い結果が得られると信じています。

ご清聴いただき、ありがとうございました。





わたし

私のふるさと ~57~

「自慢のふるさととは今…」

きんようごご 金曜午後ボランティア おくの なおこ
奥野 直子

私の生まれはさぬき…さぬきうどんで有名な香川県です。日本で最も面積の狭い県でもあります。

私の住んでいた町は東に瀬戸内海が広がり、西には雨滝山を中心に山並みが連なり、清らかな川もあり、海岸線には江戸時代に植えられた三千本の根上がり松で有名な松原があって、とても自然に恵まれた美しい町でした。太陽は海の水平線から上ります。朝日がほんの少し顔をのぞかせると、海面に光の線がパーッと走ります。そして雨滝山に夕日が沈むときにはすばらしい夕焼けが楽しめました。

毎年元旦には初日の出を拝むために町ごとにグループになって真っ暗な中を、山頂を目指します。そこで甘酒がふるまわれ、多くの人たちが新年の挨拶を交わします。

私の家は海に近く、窓からは海が見えました。夜になると遠くの小豆島の灯台の灯りがポーッとついたり消えたり一 波の音は私の子守唄でした。

夏には海が遊び場。仲よし三人組で沖に泊まっている蒸気船のイカリ綱を目指して泳ぎ、しばらく綱につかまって疲れをとり、また遠くに見える出発点の浜辺に向かって泳ぎました。ある時は近くにプカプカと浮かんでいる小舟の下を行ったり来たりしてスリルを楽しんだものです。

また秋には村祭りがあり、八幡宮に参詣する大名行列のイベントもありました。奴さんに扮した若者が長いヤリを持って「下に～下に～」と大声をかけながら練り歩きます。この意味は村人に「土下座をなさい」ということだそうです。

神輿やだんじり(山車)も出ました。子供たちにも出番があり、私も一度だんじりの舞台上「義経千本桜」の静御前の役を演じました。舞台の後ろでは近所のご隠居さんが三味線を弾き、義太夫を語りました。この時の三味線の音(ね)が耳に残り、三味線が

私の趣味になりました—これも古里との縁かなとおもいます。

こんなに穏やかで活気のあった町が、突然、死の町に姿を変えました。久しぶりに帰省した時は息をのむほどのショックでした。長い防波堤が海を囲むように作られ、砂浜が消えていました。護岸工事で魚が捕れなくなり、漁師は廃業し、浜も海も町中からも、人影が消えました。

何年か後、海岸線は改良され良くなってきていますが、昔、白砂青松と謳われた姿からは程遠い状態です。

一度破壊された自然を元に戻すことは難しく不可能だとしみじみ感じます。

同級生の一人がリーダーとなって町おこしのために町の歴史と文化を纏めつつあります。時々新しく仕上がった冊子が送られてきて今も古里との縁が続いているのは嬉しくありがたいことです。



つだ まつばら けんりつきんりんこうえん かいすいよくじょう
津田の松原(県立琴林公園)海水浴場

提供: さぬき市観光協会

みな

がくしゅうしゃしょうかい

皆さんよろしく◇学習者紹介

「好きな言葉は『がんばろう！』」

さい こくしん ちゅうごく
斉 国申さん(中国)



私のニックネームは、ダーチです。中国の北京市から、2024年4月に来日、6月に、サロンに来ました。

来日の目的は、仕事です。中国人(北京)と日本人(新宿)が作ったITの旅行会社で働いています。オンライン業務をしたり、新宿に通勤をしたりします。

学校は、北京旅遊学校で旅行ビジネスを学びました。2002年から23年間、旅行アプリを開発しました。アプリがあればどこでも旅行ができます。

家族は、妻と子供二人の四人です。妻と次男は北京にいて、私と長男は府中です。長男は中学でサッカーをします。私も若い頃、サッカーをしました。

中国料理が得意なので、水餃子や牛肉と野菜の炒め物を作ります。日本の好物は、鮪の寿司や、ラーメンです。しかし、子供は魚の刺身が嫌いです。

日本は、道が綺麗なところが印象深いです。府中の人は、皆さんが親切で人助けが好きだと思います。私も親切な性格です。サロンの先生も親切で、勉強のスピードが早く宿題が多いですが真面目です。

日本語は、勉強して使えるようになるために学びますが、今は病院と銀行の日本語は早くても難しいです。息子の方が上手く使えるので日本に友達がいます。私も日本語が上手になって日本の友達をたくさん作りたいです。好きな日本語は「がんばろう」です。

がんばります。

(聞き書き・末田)

しん

新ボラさん こんにちは

「学習者と一緒に成長」

きんやよる ふくだ かずき
金曜夜ボランティア 福田 和樹

3月からボランティアに参加しました。昨年3月に長い会社員生活を退職し、初めてのハローワークや府中市のボランティアなどいろいろトライしました。外国人小学生の学業支援も12月から始めましたが、生徒の転校等があり中断となっていました。その時に、部会長からの紹介もあり交流サロンでの支援を開始できることになりました。

私は産まれてから学校を卒業するまで、九州の長崎市に暮らしていました。江戸時代唯一の外国に開かれていた港で、有名な観光地ですし、多くの歌や歌手を輩出したところですから、皆さんも良くご存じだと思います。私の自慢の故郷ではありますが、発音のイントネーションが標準語とは異なっていることです。会社員生活の中では、方言の問題に苦しむことは少なかったと感じています。ところが、10年以上前に日本語教育能力検定試験を受けた時には、発音の部分で点数が取れずに、非常に苦労しました。現在も発音には気を遣いながら、学習者の方々の指導に当たっています。

3月の参加早々に部会の花見もあり、諸先輩方に温かく迎えていただきました。英語とカタコトの中、国語を生かして、学習者と一緒に日本語教師としての力をつけていきたいと思っています。

「素敵な出会いに感謝！」

水曜午後ボランティア 佐藤 千里

皆さん、こんにちは！

3月からボランティアを始めました、佐藤千里です。スタートしたばかりでまだ右も左も分かりませんが、先輩方の心強い励ましや学習者さん達の寛容さに助けられて、これから先が楽しみです。

私は園芸と手芸と甘いものが好きです。読書と映画鑑賞、旅行も好きで、効率良くそれらを同時にできないか？そんな欲張ったことを考えています。でも歩きながら本を読むのは危険ですし、映画を見ながらミシンを使ってみたもののストーリーが全く頭に入らず、こちらも断念しました。

「二兎を追う者は一兎をも得ず」でしょうか。ひとつひとつ丁寧にやる方が、満足感は得られるようです。

趣味はあっても特技はありません。ですが仕事で大勢の子ども達を見てきたので、強いて言えば集団遊びやけん玉、こま回しは多少出来ます。(サロンで役立つ日が来るかは疑問です)

学習者さん達も皆さん様々な経歴や趣味をお持ちで、とても興味深くお話を伺っています。気付かされること、教わることも多々あります。

縁あって府中に来られた皆さんとの出会いに感謝して、貴重な時間を少しでも有意義に楽しく過ごしていただけるよう、微力ですが努力したいと思えます。

「またサロンへ行きたい！」

そう感じていただけたらとても嬉しいです！



～日本語教授法研修 I

とくべつこうしゅうかいほうこく
特別講習会報告～

「音声講習会 I」

研修部会 秋山 純子

6月12日(木)に「日本語教授法研修 I」の一環として「音声講習会 I」が行なわれました。元東京外国語大学非常勤講師の中村則子先生にご指導いただきました。参加者は、日本語教授法研修受講中の新ボランティアと現ボランティア併せて32名でした。

1 「発音指導」は必要か

外国人が日本語の発音について直面している現状は、「言いたいことが伝わらない」「発音を間違えると外国人だとわかり対応が変わる」「発音に自信がないし、練習相手もない」「日本語は言葉が似ていて(「切手」と「来て」など)どちらの意味かわからない」などが挙げられています。

発音に問題があると、マイナスの評価を受けるなど、損をする可能性もあったり、聞き取りにも影響をしたりするため、「発音指導」は必要です。日本人と同じ発音を求める必要はありませんが、学習者の生活に役立つ発音の支援を心がけていく必要があります。

2 発音指導における「音声の聞き方」

学習者の音声を聞いてみて「なんとなく、違和感がある。」という場合は、「リズム」と「韻律」に問題点があります。

(1) リズム(特殊拍)の指導方法

《特殊拍のよくある誤り》

・伸ばす音「ー」(長音)

例：ゆうめい→ユメ(長音不十分)

・小さい「っ」(促音)

例：しっています→シテイマス(促音不十分)

・はねる音「ン」(撥音)

例：ふじさんにのぼった→フジサニノボッタ

sanni

sani

みんなの広場

- ① 拍リズム(日本語の音の長さ)の指導
 例:「コー/ヒー」(4拍)、「パイ/ナッ/プル」(6拍)、「に/ほん/ご」(4拍)
 空中で拍をとったり、手をたたいたりするなど、からだを動かしながら発音する練習が有効です。
- ② 音節リズム(聞いて一つに聞こえるリズム)の指導
 例:「コー/ヒー」(2音節)、「パイ/ナッ/プル」(5音節)、「に/ほん/ご」(3音節)
- ③ テキストを読む時に、特殊拍にマーカーを引くと、リズムに注意して読むことができます。

(2) 韻律(アクセント・イントネーション・ポーズ)の指導方法

- ① 「アクセント」は、一度下がったら、二度と上がりません。
 「アクセント」には、頭高型(雨、箸)、中高型(暑い、歩く)、平板型(行く、地下鉄)、尾高型(弟、妹)の4つの型があります。
- ② 平叙文の基本の「イントネーション」は、ひらがなの「への字」です。
- ③ フレージング指導法
 ・「ポーズ」を入れる(「/」)
 ・イントネーションを描く(「への字」にする)
 例: いなかのひとたちは/がいこくじんがにほん
ごをはなすと/びっくりします。

「音声講習会Ⅱ」は、11月27日(木)です。「音声の聞き方」のもうひとつの問題点「単音」について行なう予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。尚、今回の「音声講習会Ⅰ」の様相を収めたビデオ映像をボランティアと学習者の皆さんにお送りしましたので、ぜひご覧ください。

「日本語教授法研修会初級Ⅱ

開催のお知らせ

前期・日本語教授法研修会初級Ⅰに続き、下記の要領で全11回にわたる後期・日本語教授法研修会初級Ⅱを開催します。

■日程: 9月4日(木)～11月13日(木)の毎木曜

*以上の全10回は山田先生による講義

10月9日(木)

「外国人の在留資格について」

*この回は特別講座になります。

講師は寺岡奈都子氏(行政書士)

■時間: 午後2時～4時

■場所: フューチャー学習室

■対象: 前期受講者と現ボランティア(若干名)

■テキスト代: 『みんなの日本語初級Ⅱ』2500円

■教授法研修講師: 山田しげみ先生(TUFSオープンアカデミー講師)

なお、現ボランティアの方々も受講、または希望する回の聴講(各1回につき5名まで)ができます。詳しいことはサロン事務局にお問い合わせください。

「サロンの夏休みのお知らせ」

1 学期の学習会は、7月19日(土)で終わります。

2 学期は、9月1日(月)からはじまります。

7月20日(日)から8月31日(日)までは夏休みとなります。

夏休みの間、サロン事務局は以下の日程で開いています。

■日程：7月22日(火)から8月29日(金)までの間の毎週月曜日～金曜日

■時間：午前9時半～午後4時半
但し、フチュール休館日(月間カレンダーを参照)は開いていません。

*詳しいことは、サロン事務局で聞いてください。

「夏休み自主学習のお知らせ」

今年も夏休み中の自主学習を以下の日程で実施します。日本語学習をしたい方は、下記の要領にしたがってご参加ください。

■期間：7月25日(金)～8月30日(土)の月の水・金・土曜日
但し、8月11日(月・祝)～16日(土)は休み

■時間：午前の回・10時～昼12時
午後の回・2時から4時

■場所：料理講習室ほか

■参加人数：各回6組12名まで

■申込み締切：7月12日(土)

申込みは予約制になります。事務局にある自主学習申込み用紙に、希望日時、学習者と担当ボランティアの名前を記入してください。なお、「プラッツ」のミーティングスペースも使えますが、事前予約が必要なため、各部長にお伝えください。

*詳しいことは、サロン事務局で聞いてください。

～編集後記～

前月、編集後記を書かれた今井さんに誘われて気が付いたら(!)会報部会に入会していた本田です。同じく昨年度の日本語教授法研修を修了したばかり、昨年9月から日本語を海外の方に教えるなんて自分ではできなかつたらとドキドキ、でも、どんな学習者さんに出会えるのかわくわくしながらボランティア活動に参加させていただいています。

ボランティア活動も会報部会作業も温かい先輩方のご助言や励ましを受けて、拙いながらも少しでも誰かのお役に立てているのならと自分を励ましながら取り組んでいます。

この会報誌を手にとって読んでくださる方々に学習者さん、私達ボランティアが感じた異文化との出会いのドキドキとワクワクを一緒に感じてもらえるような、そんな会報誌にできたらいいなと思っています。

どうぞよろしく願いいたします。(本田)



【創刊】 1997年11月

【編集】 編集長：和田泰弘

会報部会：末田・和田・堤林・岩城
今井・本田

【事務局】 電話：042-352-4178

サロンのホームページ

<https://fuchukokusai.com/>

